

「犯罪からの子どもの安全」 研究開発領域について

独立行政法人科学技術振興機構(JST)

社会技術研究開発センター(RISTEX)

Japan Science and Technology Agency
Research Institute of Science and Technology for Society

平成22年3月16日(火)

JST社会技術研究開発センターについて

2

- 独立行政法人科学技術振興機構は、
科学技術の振興により、新しい価値の創造に貢献
- センターは、社会の具体的な問題の解決のための
研究開発、成果の利用・展開を推進
 - 成果の社会への実装・普及・定着を見据えて、
社会問題に取り組む人々と協働
 - 対象となる問題を絞り込み、研究開発領域を設定
 - 地域に根ざした脱温暖化・環境社会（平成20－25年度）
 - 犯罪からの子どもの安全（平成19－24年度）
 - 科学技術と人間（平成17－24年度）
 - 情報と社会（平成15－22年度）
 - 脳科学と社会（平成13－21年度）

「犯罪からの子どもの安全」領域における問題意識

3

現状：目の前の子どもを守るために・・・

- ・ 応急対策、試行錯誤、息切れ状態
- ・ 様々な主体が個別に取組を実施
- ・ 対策の有効性の検証が不十分
- ・ 防犯対策・教育が、子どもの心に与える影響が心配



第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム

「犯罪からの子どもの安全」領域における問題意識

4

現場の知恵や経験に加えて
防犯対策に
科学的知見や手法の導入が必要！



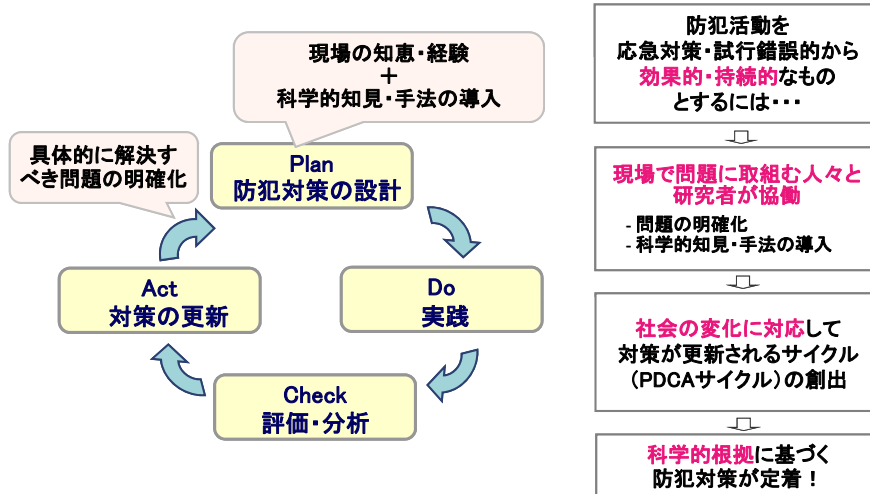
第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム

本領域が目指すもの

5

犯罪からの子どもの安全に向けて、社会技術としての防犯対策を日本で普及させる。

- ① 科学的根拠に基づく知見・手法を創出し、
- ② 実証・政策提言など、社会実装に資する成果を生み出す。



第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム

「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域のイメージ

6

領域

領域総括

領域アドバイザー

ネットワーク

【目標】(1) 関与者の開かれたネットワークの構築

公募プログラム

【目標】

- (2) 防犯対策の基盤となる科学的知見・手法の創出
- (3) 科学的知見・手法を活用し、地域の実情に合わせた効果的・持続的な防犯対策についての具体的成果の創出

プロジェクト

実施期間: 1～5年 (但し、研究開発プログラム終了まで)
規 模: 研究費 年間数百万～5千万円程度

* 今年度で募集は終了しました

【領域の期間・規模】 平成19～24年(6年間)・研究費20億円程度を想定

第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム

13の採択プロジェクト (1~5:H21年度、6~9:H20年度、7~13:H19年度採択)

7

プロジェクト名	研究代表者
1 子どもを犯罪から守るための多機関連携モデルの提唱	石川 正興 (早稲田大学法学学術院 教授)
2 犯罪の被害・加害防止のための対人関係能力育成プログラム開発	小泉 令三 (福岡教育大学教育学研究科 教授)
3 被害と加害を防ぐ家庭と少年のサポート・システムの構築	辻井 正次 (浜松医科大学子どものこころの発達研究センター 客員教授/中京大学現代社会学部 教授)
4 子どもの犯罪に関わる電子掲示板記事の収集・監視手法の検討	中村 健二 (株式会社関西総合情報研究所 執行役員統括マネージャー)
5 演劇ワークショップをコアとした地域防犯ネットワークの構築	平田 オリザ (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 教授)
6 子どものネット遊び場の危険回避、予防システムの開発	下田 博次 (特定非営利活動法人青少年メディア研究協会 理事長)
7 犯罪から子どもを守る司法面接法の開発と訓練	仲 真紀子 (北海道大学文学研究科 教授)
8 虐待など意図的傷害予防のための情報収集技術及び活用技術	山中 龍宏 (独立行政法人産業技術総合研究所 子どもの傷害予防工学カウンスル 代表)
9 計画的な防犯まちづくりの支援システムの構築	山本 俊哉 (明治大学理工学部 准教授)
10 子どもの見守りによる安全な地域社会の構築ハート・ルネサンス	池崎 守 (特定非営利活動法人 さかいhill-front forum 理事長)
11 系統的な「防犯学習教材」研究開発・実践プロジェクト	坂元 昂 (社団法人 日本教育工学振興会 会長)
12 子どもの被害の測定と防犯活動の実証的基盤の確立	原田 豊 (科学警察研究所犯罪行動科学部 部長)
13 犯罪からの子どもの安全を目指したe-learningシステムの開発	藤田 大輔 (大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター 教授/大阪教育大学附属池田小学校 学校長)

第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム

領域として成果を考え、発信

8

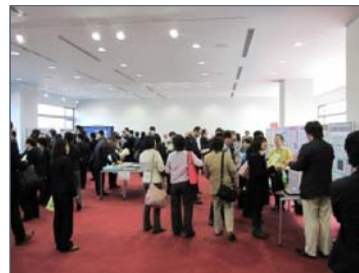
領域合宿

- これまで年1回、領域関係者が集まり議論



第2回シンポジウム(2009)

- 4プロジェクトの代表による講演・パネルディスカッション
テーマ: 犯罪被害実態をつかむ
- 全8プロジェクトによるポスターセッション、来場者との対話



第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム

Webサイト & メールマガジン

9



● 領域活動をはじめ、
犯罪からの子どもの
安全に関する
情報を発信

- イベント情報
- インタビュー記事
- プロジェクト紹介

など

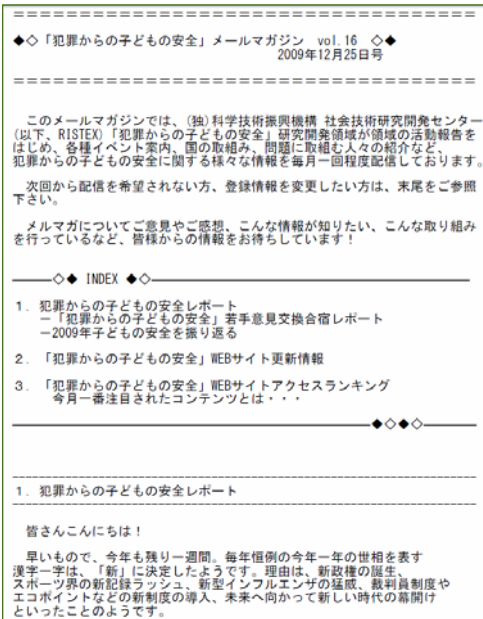
Webからメルマガ
登録ができます

第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム

Webサイト & メールマガジン

10

- 月1回程度配信
- 領域担当の視点
からのレポート
 - 1か月間の
領域活動報告
 - イベント参加
レポート
 - 気になる取組み
紹介 など
- 領域関係者から
の寄稿
- ウェブ更新情報
- 公募情報 など



第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム

本シンポジウムについて

